

開会あいさつ

中日友好労働者シンポジウムにおける講話

中華全国総工会副主席、書記処書記 江広平



本日、日中労働者交流協会との共催で中日友好労働者シンポジウムを開催できることを、私は大変うれしく思います。中華全国総工会、中国職工対外交流センターを代表して、遠路はるばるお越しいただいた日本の労働界の友人の皆様を熱烈に歓迎するとともに、お忙しい中、シンポジウムにご臨席いただいた貴賓のみなさまに感謝し、シンポジウムが成功裏に開催されることをお祝い申し上げます。

今年は日中平和友好条約締結から40年であり、この非常に重要な時期に中日友好労働者シンポジウムを開催したのは、ともに中日両国の関係と発展に積極的に寄与してきた労働者交流を回顧し、両国の労働組合と労働者のあいだの相互理解を深め、新しい時代における中日両国労働者の交流と協力の新たな一歩を検討するためです。

すでに1950年代の中日両国の国交正常化以前より、両国の労働組合は様々な困難を克服して、相互交流を重ねてきました。1956年に中日両国の労働組合がはじめて締結した協定において「両国の労働組合は友好と交流を強化し、労働組合の立場から両国の国交正常化を促進し、経済と文化の交流を強化し、相互理解を深める」ことが提起されていました。その後、両国の各地の労働組合や産別組合のあいだでの交流が盛んになり、「民間が先行し、民が官を促す」という重要な役割を發揮し、ついに中日の国交正常化実現を推進したのです。1978年8月12日、中日両国は日中平和友好条約を締結し、法的に中日共同声明の各原則を確認し、中日関係における重要な一里塚を打ち立てました。この40年来、両国の労働組合と労働者は、経済、技術、文化、労働など多くの分野で効果ある一連の交流と協力を築きあげ、両国人民に幸福をもたらし、地域と世界の繁栄と安定に貢献してきました。

両国の労働組合の交流の歴史を振り返ると、以下の三点において私たちが啓発されるところがありました。ひとつは、中日両国の労働者のあいだの友好的交流には長い歴史があり、両国の関係がどのように変化発展しようとも、平和友好の初心を忘れてはならず、労働者のあいだの交流は断絶してはならないということです。ふたつには、中日両国の労働者の交流は民間交流が重要な構成要素であり、民間外交の利点が、両国労働者階級の友好の増進に積極的な役割を果たし、それが中日関係の発展の原動力になるということです。三つには、相互の尊重、相互の信頼という原則にもとづくことこそ、中日両国の労働者のあいだにさらなる友好的交流と協力を発展させることができるということです。われわれは時

中国側報告

代の変化とともに進み、変化した情勢と環境にもとづいて、新しい交流領域を切り開き、新たな協力の方式を模索することで、両国労働者の交流と協力を持続可能で健康的に発展させなければなりません。

過去を総括することは、より良い未来を切り開くためです。現在、両国労働者の交流と協力は新しい発展段階に入っており、新たな発展情勢と任務に直面しています。中国共産党と政府は労働者階級と労働組合活動を重視、党の19回大会では労働組合の活動に新たな使命と新たな要求が提起されました。今年の国際労働メーデーで、習近平総書記は中国労働関係学院の労働模範本科班の学生への返信で、労働模範が党と国家事業の発展に突出した貢献をなしたことを高く評価し、新しい時代の産業労働者の隊伍の建設と労働模範教育活動に明確な要求を提起しました。習近平総書記の返信は、労働模範と広範な労働者に対する親しみある関心を体現し、労働組合活動を高く重視し、広汎な労働者と労働模範にたいする大いなる激励であるとともに、新しい時代の労働組合の活動に明確な方向性を示すものでした。

現在、中国労働組合は以下の三つの活動にしっかりと取り組まなければなりません。

ひとつは、産業労働者の隊伍建設の改革推進をとっかかりとして、知識型、技能型、イノベーション型の労働者大軍を建設することです。中国の革命、建設、改革は、産業労働者の歴史的貢献と切り離すことはできません。小康社会を全面的に完成させ、「ふたつの百年」という奮闘目標を完成させるにあたって同じように広範な産業労働者が主力軍としての役割を發揮しなければなりません。労働組合は産業労働者の発展につとめ、上昇の道をつくり、待遇を保障し、イノベーションに活力を与えるよう努力し、理想ある信念をつくり、技術を理解しイノベーションができる、貢献することをいとわない広大な産業労働者の隊伍を建設しなければなりません。

ふたつには、労働模範精神と職人氣質の発揚に重点を置き、労働が光栄だという社会気風と向上に向上を重ねる職業を敬う風習をつくりだすことです。労働模範精神と職人精神を大いに発揚し、労働模範と大国職人などの進歩的人物の模範指導の効果を十分に發揮させ、さらに「大国職人」ブランドを充実させ、広汎な労働者が自らの職務に立脚し、職務を愛し業務を敬い、貢献に汗を流し、卓越を追求するよう引導します。

三つには、労働者大衆の快適な生活への希求を目標とし、権利擁護のサービス活動を充実させるという旗幟を鮮明にすることです。労働者大衆の快適な生活を確立するという希求は、労働組合の新たな使命と当事者意識であり、互いに向き合い、心を通わせ、堅実に労働者大衆にたいする活動をおこなうことです。転職する労働者、都市部の生活困窮労働者、農民工などを重点的にサポートし、サプライサイドの構造改革における労働者の権利擁護をサポートする体制を深化させ、労働者の会得感、幸福感、安全感を引き上げ、2020年には広範な労働者の小康社会の実現を確実にすることです。労働組合における「インターネット・プラス」政策という、労働者が恩恵を受けるサービスを深化推進し、労働組合が統一して「インターネット・プラス」に接続する労組のサービスプラットフォームを設立し、広汎な労働者に便利で効率的なサービスを提供します。

政府、労働組合、企業が共同参加した協議調整メカニズムを完成し、労働者の合法的権利の法治化、制度化の建設を引き続き推進し、政府と労働組合の合同会議を真剣に開催し、政労使三者メカニズムと職員代表大会、工場業務の公開民主管理などの制度を着実に実施し、社会調和と労働者隊列の安定を促

中国側報告

進めます。人道的関心と丁寧な指導を重視し、ディーセントワークと快適な職場環境の全面的発展を実現します。

今年10月、中華全国総工会は第17回全国代表大会を開催します。これは中国の労働組合にとって大きなニュースです。この機会に友人の皆様に応じた大会の準備状況をご説明します。「中国工会規約」によると、中国の労働組合は五年に一度、全国代表大会を開催しなければなりません。今回の大会は我が国が全面的な小康社会の実現にとって決定的な段階となり、中国の特色ある社会主義が新たな時代に突入する重要な時期に開催される重要な会議であり、中国の労働組合の発展の歴史における一大事件であり、広汎な労働組合幹部と労働者大衆の政治生活における一大事件でもあります。大会では新たな時代の労働組合活動の指導思想と目標任務が提起され、「中国工会規約」が改定され、中華全国総工会の新しい指導部が選出されるでしょう。目下、斬新な様相で17回大会を迎えるために、労働組合は上から下まで力を合わせて大会の準備をしている最中なのです。

友人の皆さん、現在の世界は大発展、大変革、大調整の時期に直面しており、世界の多極化、経済のグローバル化、情報社会化、文化の多様化が深く発展し、グローバルなガバナンスと国際秩序の変革が加速しており、国と国の相互依存はさらに緊密化しています。覇権主義と強権政治は依然として存在していますが、国際秩序をさらに公正で合理的な方向に発展させようとする声は無視できないものになっています。安全への脅威についても伝統的なものや非伝統的なものなどが現れており、地域的にホットな問題も各所で出現していますが、平和を守る力は平和を破壊する力に打ち勝つでしょうし、安心と安定は人心の向かうところでもあります。世界経済は良好な兆しを見せていますが、不安定で不確定な要素も増加しており、単独主義、保護貿易主義、反グローバル化思想が台頭しています。このような情勢に直面するなかで、習近平総書記は、人類運命共同体という戦略思想を提起し、これは国際社会からの高い評価と熱烈な反応を受け、何度も国連の文書に記載されています。すこし前に閉幕した国際労働機関（ILO）の第107回総会でも、人類運命共同体という主張が大会の主要文書のなかにも記載されました。

中日両国はアジアと世界において重要な影響力を持つ国家であり、中日関係は双方にとっても重要な二国間関係の一つであります。現在、中日両国の関係は歴史を継承し未来へつなぐ歴史的結節点として、大きな発展のチャンスに直面しています。李克強総理が成功裏に訪日を終え、日本の各界との広範な交流、友好的な対話を果たし、中日平和友好事業の再開という積極的な意向を伝え、中日関係はふたたび正常な発展軌道に回帰しました。中国の労働組合は崇高な志を持つ広範な労働界の友人とともに、中日関係改善の好機をつかみ、堅実な交流をさらに展開し、中日労働者間の友好と交流を深化させ、中日両国の平和友好の協力の船を遠洋にまで安定して航海するために積極的に貢献する所存です。

今回のシンポジウムには、日本の労働組合の代表や中日友好交流事業を専門とされる専門家や研究者のみなさまが参加されており、シンポジウムというこの場を十分に活用いただき、コミュニケーションを深め、相互理解を増進させ、両国関係の改善と発展のコンセンサスをまとめあげ、中日労働者の友好交流事業のいっそうの実践的な推進に役立てていただければと思います。最後になりましたが、この度

中国側報告

のシンポジウムが滞りなく成功することをお祝いし、日本の友人の皆さまの中国滞在が快適であることをお祈りします。ありがとうございました。